

火災予防運動を前に待機宿舎で自衛消防訓練実施



秋の火災予防運動を前にコロナ禍の中、豊島待機宿舎で宿舎員による密を避けた自衛消防訓練が10月28日から30日の3日間に分散し実施しました。

日頃は、都民指導にあたっている職員ですが、実際に居住する建物で消防計画や消防設備について再確認をしました。

また、当日は訓練に合わせて宿舎総会も開催され、日頃の健康管理や宿舎生活について、宿舎管理者からの宿舎生活のルールや注意点について確認されたあと、宿舎OB職員のジョイントプロジェクトによる会の企画、進行により、「退所してからわかる宿舎生活の大切さとありがたさ」についての講義、フリートーク会議が行われました。

出席者からは「先輩の体験談を含めた教養は、身近な内容でとても参考になりました。」という意見や「入寮後、日が浅いため、わからない点もありましたが、よくわかりました。」という感想が聞かれました。